

# 知識確認問題

## ～ I.トラックを運転する場合の心構え～

実施日:令和 年 月 日

氏名: \_\_\_\_\_

### 【問題 1】

国内の貨物輸送の約（ ）割は、トラック輸送が担っており、物流の主役であるといえます。物流を支える事業用トラックは、日本経済を支えるといっても過言ではなく、重要な社会的役割を担っています。

### 【問題 2】

トラック運転者は、社会的な役割を担う貨物輸送を支える一員であることを自覚し、緊急時には、緊急・救援輸送など（ ）を担っていることを自覚しましょう。

### 【問題 3】

大きな車体を持つトラックの場合、事故の規模は大きく、被害者を生むだけでなく、事故による交通渋滞など社会に大きな影響を及ぼします。トラックの走行距離あたりの交通事故件数を自家用車と比較すると大きく下回りますが、（ ）事故件数はトラックが自家用車より高くなっており、トラックが事故を起こすと（ ）事故を生む可能性が高くなります。

### 【問題 4】

事故を起こせば、運転者がドライバーとしての（ ）を失うばかりか、会社（ ）にも大きな影響を与えることとなり、運送業界全体の（ ）低下にもつながりかねません。

### 【問題 5】

物流の主役を担うプロ運転者が（ ）運転をすることは決してあってはなりません。（ ）運転撲滅のために、運転者同士が飲み過ぎ等ないよう、互いに（ ）方法に関して注意し合える関係性を築きましょう。

### 【問題 6】

トラックによる死亡事故のうち、最も多いのが（ ）との接触事故、次いで（ ）事故です。特に（ ）との接触事故のうちのほとんどが（ ）で発生しており、中でも歩行者・自転車との接触死亡事故の割合が高くなっています。横断歩道では歩行者や自転車の有無を確認する等、慎重な安全確認が大切です。

### 【問題 7】

トラックは、大きい車体であるがゆえ、（ ）意識が募りやすいものです。幅寄せ、あおりなどの威圧的な運転や嫌がらせの運転はせず、強いからこそ相手の（ ）に立った思いやりのある運転が求められます。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck\_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。